

2. GETFLOWSの更新

2.1 GETFLOWS更新の概要

2.2 モデルの更新と現況再現

2.1 GETFLOWS更新の概要

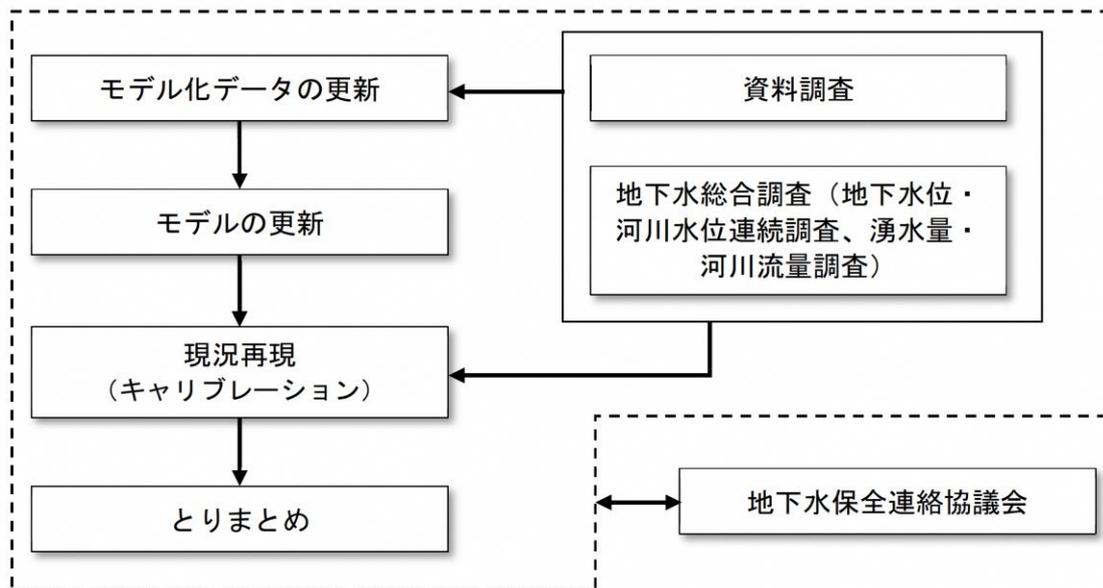
(1) 業務目的

- ◆ 資料調査及び地下水総合調査で得られた最新の知見・データをGETFLOWS(三次元水循環解析モデル)に取り込み
- ◆ 水文地質構造、地下水涵養量及び地下水揚水量等を用いて、可能な限り現況結果による**地下水の姿を忠実に再現できるモデル化**を行うこと

(2) 業務の流れ

- ◆ 右図のとおり

GETFLOWS(三次元水循環解析モデル)の更新の流れ

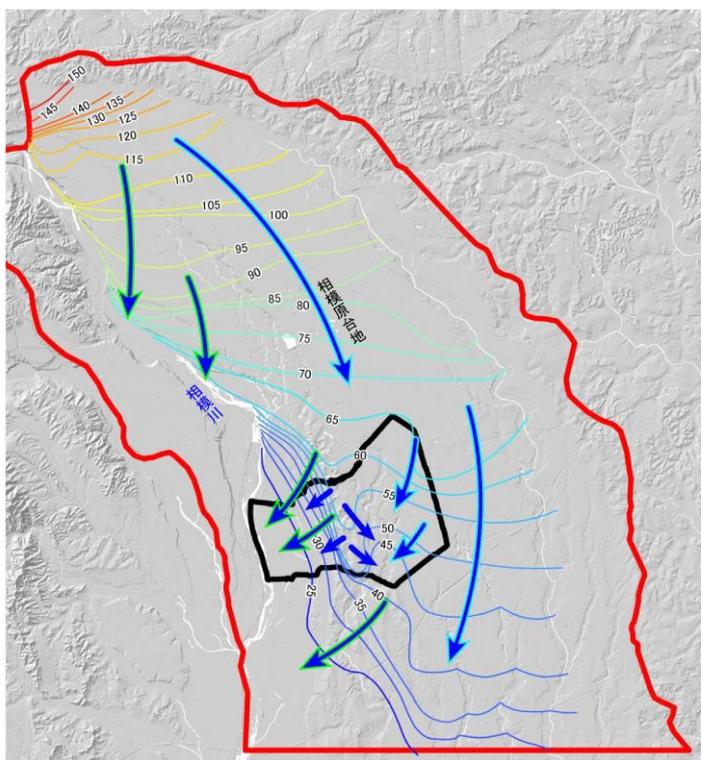


2.2 現況再現

(1) 地下水位等高線図「全域」

- ◆ 相模原台地の北から南へ流れる地下水の流れを概ね再現
- ◆ 座間丘陵で東西に振り分けられる流れも再現

〈平成29年度一斉地下水調査による地下水位等高線〉



〈更新したモデルによる地下水位等高線〉

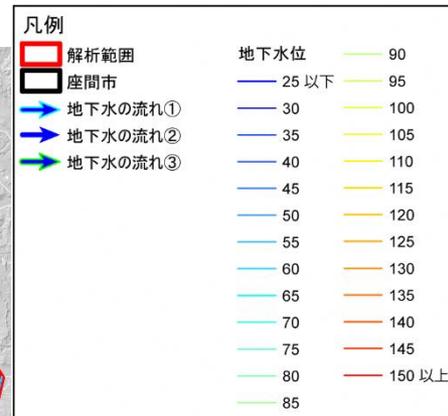
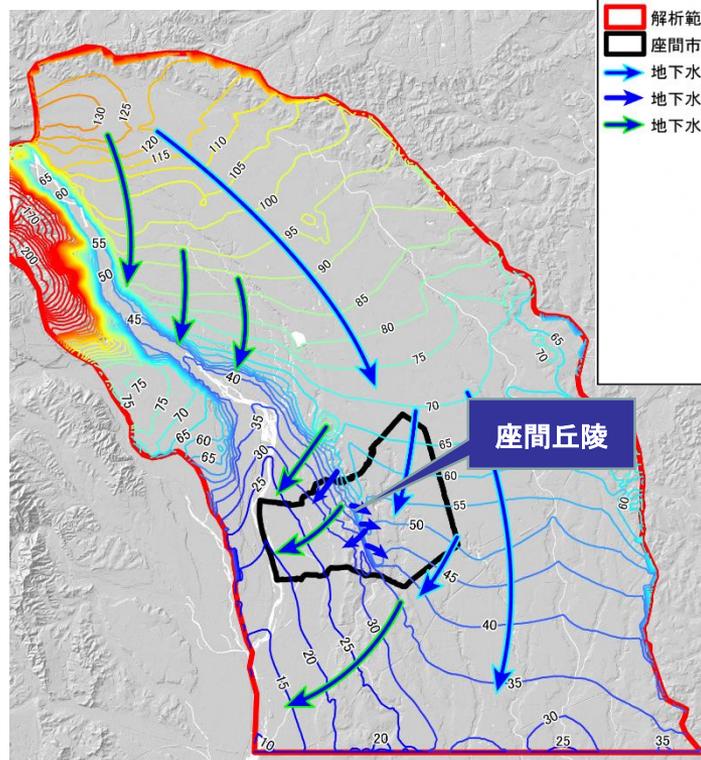
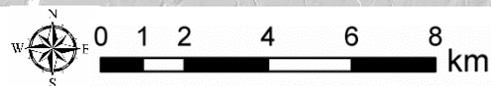


図 地下水位等高線(全域)

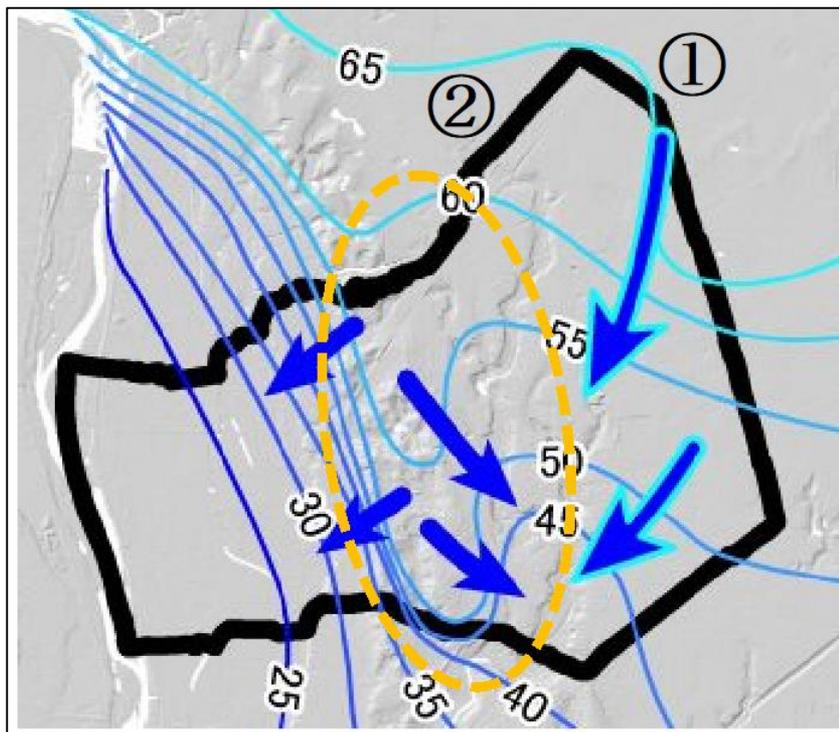


2.2 現況再現

(1) 地下水位等高線図「座間市拡大」

- ◆ 座間丘陵で東西に振り分けられる流れ等も再現
- ◆ 座間市の北から流入する地下水の流れ、目久尻川への流動は概ね再現

〈平成29年度一斉地下水調査による地下水位等高線〉



〈更新したモデルによる地下水位等高線〉

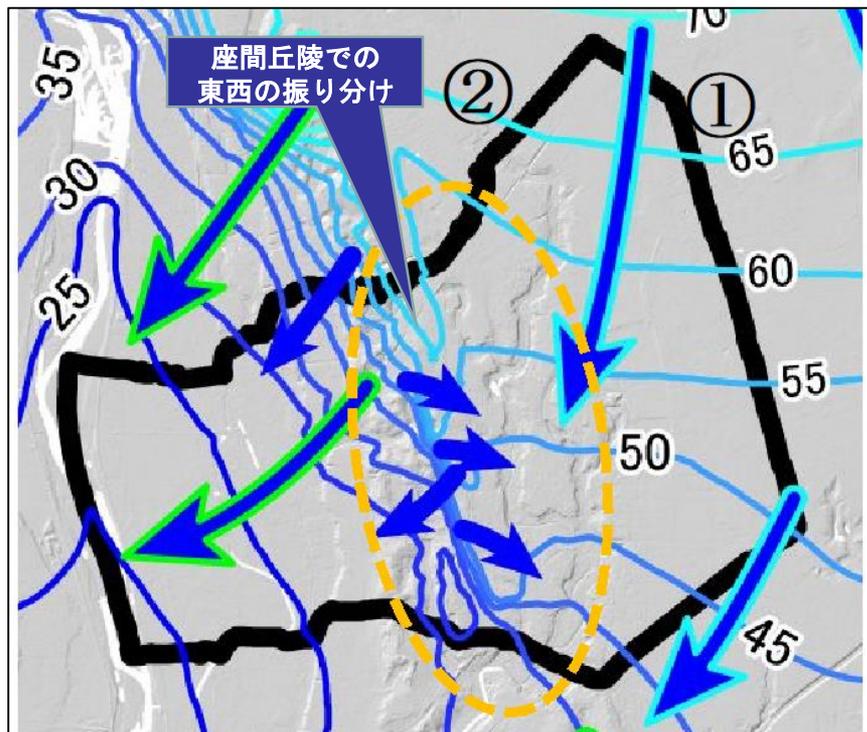


図 地下水位等高線(座間市拡大)

2.2 現況再現

(2) 定常解析

- 台地部にある深井戸(A1、A3、A4、A14) ⇒良好
- 沖積低地にある深井戸(深井戸2号、6号) ⇒良好
- 目久尻川にある井戸(H29-No.1) ⇒良好
- 座間丘陵南部にある井戸(H29-No.2)
⇒若干計算水位が高いが改善
- 台地部にある井戸(H29-No.3)
⇒若干計算水位が低いが改善

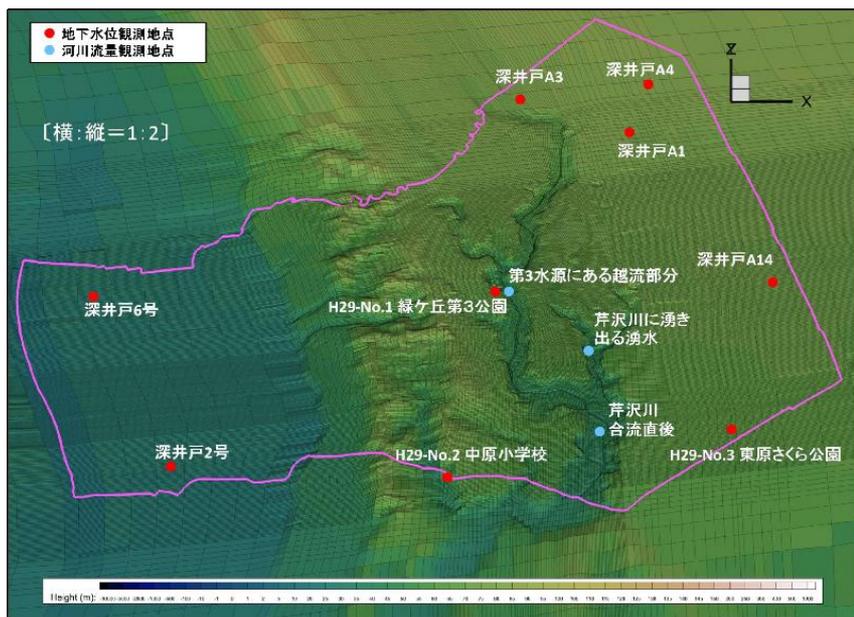


図 観測井戸位置

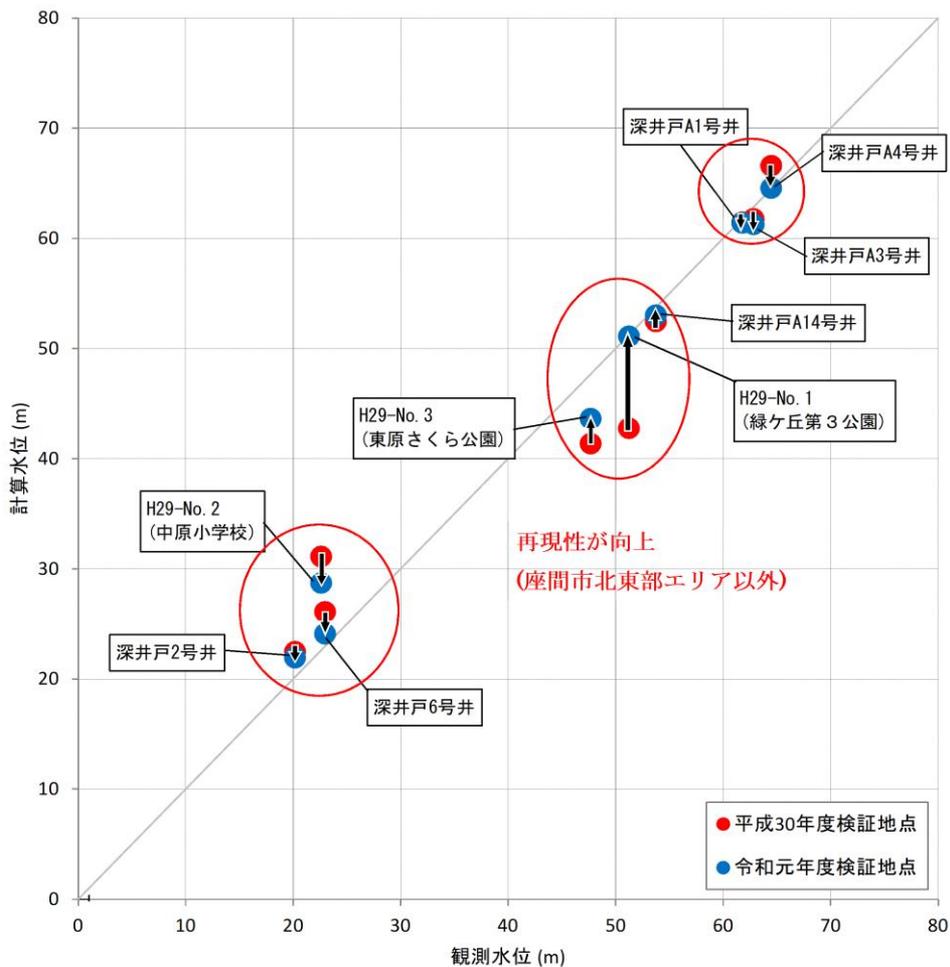


図 地下水位計算結果

2.2 現況再現

(3) 非定常解析

- 台地部にある深井戸(A1、A3、A4、A14) ⇒良好
- 目久尻川にある井戸(H29-No.1) ⇒良好
- 座間丘陵南部にある井戸(H29-No.2) ⇒計算水位が高い
- 台地部にある井戸(H29-No.3) ⇒若干計算水位が低い
- 沖積低地にある深井戸(深井戸2号、6号) ⇒概ね良好

市の南側の一部で、十分に再現できていない地点があるが、本モデルの適用性を評価

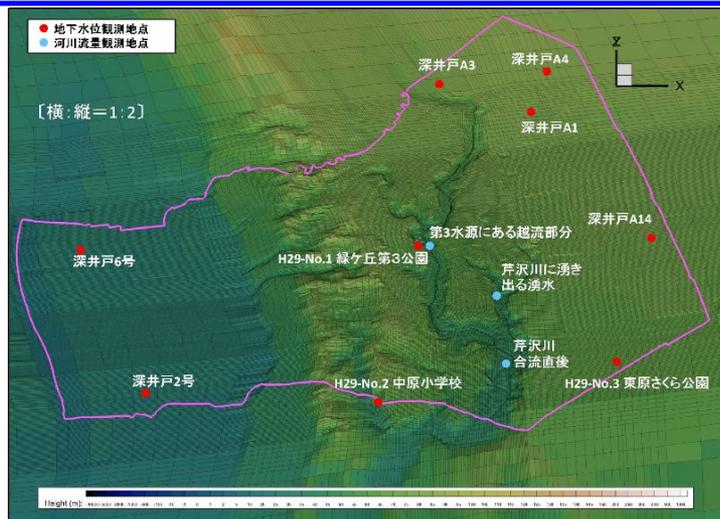


図 観測井戸位置

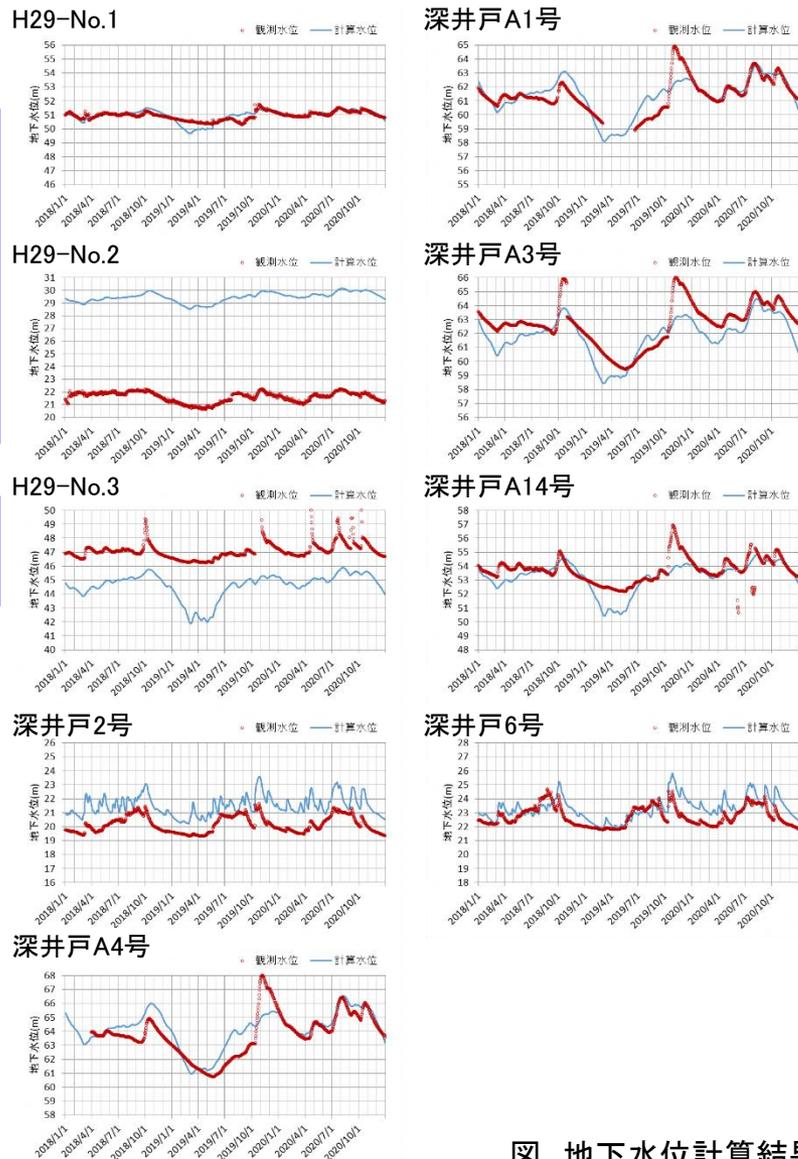


図 地下水位計算結果